

10月18日（金）～10月27日（日）

デザイナートトーキョー

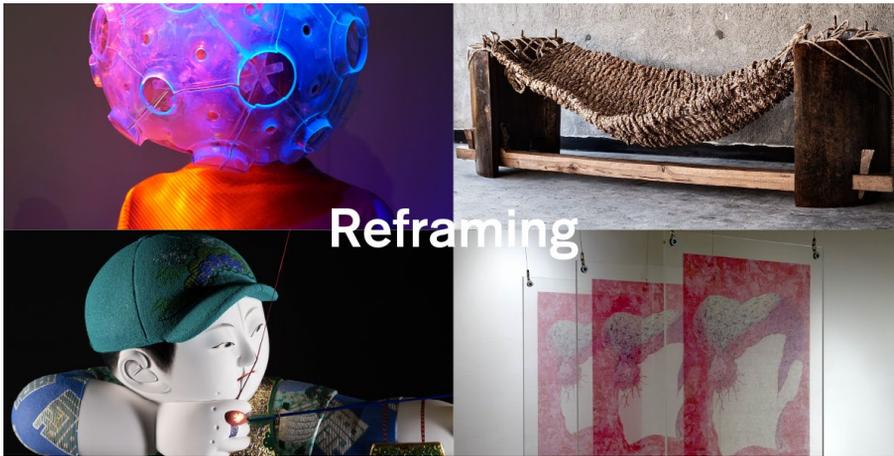
DESIGNART TOKYO 2024まもなく開催！

「Reframing ～転換のはじまり～」のテーマのもと
過去最大規模となる117の多彩なプレゼンテーションが東京の街を彩ります

世界屈指のミックスカルチャー都市、東京を舞台にデザイン、アート、インテリア、ファッションなどが多彩なプレゼンテーションを開催する日本最大級のデザイン&アートフェスティバル「DESIGNART TOKYO」。インターネットの普及により、わたしたちは瞬時に膨大な情報を手に入れられるようになりました。しかしその一方で、手軽な情報収集は既視感のあるアイデアを生む、コモディティ化の原因にもなっています。タイムラインから流れてくるニュースやふと目にした映像。それが当たり前になった今、いつの間にか周りのノイズに振り回されている自分に、違和感を覚えたことはないでしょうか。DESIGNART TOKYO 2024のメインテーマは、「Reframing ～転換のはじまり～」。従来の枠組みにとらわれず、別の視点から見つめ直すことで、新たな価値を提示するクリエイターたちの営みに注目しました。

オフィシャルエキシビション「Reframing」展 4人のキュレーターの視点がクロスオーバーする

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/8509/>



Reframing



左から時計回りに「ART」金澤 韻（こだま）・現代美術キュレーター／株式会社コダマシニアアーティストック・ディレクター、「DESIGN」川合将人・インテリアスタイリスト/スペースデザイナー BUNDLESTUDIO Inc.代表、「CRAFT」立川裕大・伝統技術ディレクター、「TECHNOLOGY」青木電太・芸術監督/社会彫刻家

左上から時計回りに Jibao Li (TransVision)、José Zanine Caldas (Sofa com rede)、Human Awesome Error (Super Cell / 不良息子像)、中村弘峰 (この矢はづさせ給ふな)

世の中に新しい価値観を問う

オフィシャルエキシビションは、アート、デザイン、クラフト、テクノロジーといった、異なる分野の第一線で活躍する4人がキュレーションした、18組のクリエイターによる“Reframing”を体感できる画期的な展覧会です。独自の美を追求してきたキュレーターと、自らの信念を作品として結晶化するクリエイター。それぞれのジャンルは文脈を語るうえで尊重すべきですが、その境界線をはっきり分けることはもはや無意味とも言えるでしょう。

硬直化した思考や思い込みは、可能性を狭めてしまうだけ。これらの作品は、そんな常識に縛られ、無意識に制限をかけている世の中に問いかけます。いま見えている世界は、誰かのフィルターに妨げられていないか。それは本質的なことなのか。Reframingの先に、ワクワクするような未来につながる、新しい発見やヒントが見つかるかもしれません。

Spatial design by 「HYBE Design Team」

HYBE Design Teamは、各キュレーターから「Reframing」をどんな想いでとらえ、キュレーションしようと考えているのかをヒアリングをし、その上で“現代を見直しながら未来を考察していく試み”と捉えつつ、できるだけシンプルな空間で、訪れた方々それぞれが思考を巡らせたり、気づきにつなげてもらえる場をイメージしました。再生素材を無垢な状態で用いるというアイデアで、新たなスタンダードを生み出すチャレンジをした空間は必見です。また、東京ミッドタウンのイセタンサローネでは、HYBE Design Teamとしてのプレゼンテーションも実施します。(10.2(wed)～10.29(tue))

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7854/>

HYBE design team

創業者の竹田純を代表に、新旧、時間軸を横断しながらハイブリットな視点で価値をデザインに落とし込み、クライアントから施工者、職人やアーティストなど多くの協力者を含め、チームとしてプロジェクトの実現に向けて進めているインテリアデザイン会社。



代表 竹田純



2024年度Milano Saloneにて発表した作品

「Reframing」展 主催：DESIGNART TOKYO実行委員会（株式会社デザイナート）助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】

ARTS COUNCIL TOKYO



会場：ワールド北青山ビル（東京都港区北青山3-5-10）

作品との出会いや感動をつなぐ注目の集合展

AXIS Gallery JOINT EXHIBITION : Woodwork

参加クリエイター：CONSENTABLE / Takusei Kajitani、iwakagu、MARUHON INC.、ODS / Oniki Design Studio、SHINYA YAMAMOTO、TGDA+639、tossanaigh

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/?search=axis%20gallery>

さまざまなデザインを発信する“場”として、1981年デザイン発信拠点「AXIS」のオープンとともに誕生した「AXIS GALLERY」では、家具やインテリアの素材として欠かさせない『木』をベースにした作品が一堂に集まります。建築家・デザイナー 鬼木 孝一郎によるODS / Oniki Design Studioは、日本の組子技術を発展させ、立体的に組み付けた「Forêt（フォレ）」の新作コンソールテーブル、ローテーブルを展示、また、梶谷拓生のCONSENTABLE（コンセンタブル）は“Deep dive into what I want.” というテーマで世の中になくモノをデザインした10年間の活動を紹介します。静岡のオーダーメイド家具工房 iwakaguは「木」にもう一度焦点を当て、住まいと木工の関係を見つめ直した木製家具を発表します。MARUHONはナラ枯れ材を活用した無垢フローリングと、木・鉄・石の素材の魅力を活かしたカスタムメイドが可能な家具による上質な空間を提案。SHINYA YAMAMOTOは「やぼったいけど、愛おしい。」をテーマに、素朴だけドキャッチーなフォルムと素材・質感から醸し出す雰囲気やプロダクトとオブジェの中間的な表現で家具に落とし込みました。TGDA+639（高須学（TGDA）+百瀬聡文（挽物所639））は、「分解と再構築」をコンセプトに制作工程のどこかに意図的なわずかなズレや傾き、回転・反転などの変化・分解を加え再構築し、計算されたジオメトリーな美しさを追求したプロダクトを、デザインユニットtossanaigh（トッサネ）は、使い道が決まらないまま眠っている林地残材を活用したサステイナブルなダイニングテーブルを展示します。進化する技術とデザインにより新たな木の魅力を改めて感じる集合展です。



photo Masayuki Hayashi

会場：AXIS Gallery 東京都港区六本木5-17-1 AXISビル 4F

左：SUMIRI series / design RYOSUKE FUKUSADA（iwakagu）、右上：Forêt（ODS / Oniki Design Studio）、右下：MARUHON INC.、Di+Re Products（TGDA+639）



TIERS GALLERY

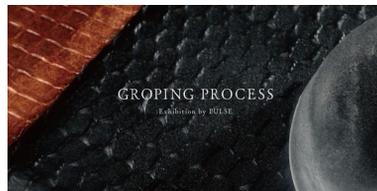
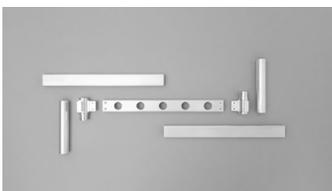
参加クリエイター：FARM AND BUILD、HOJO AKIRA（UNDER 30）、Masaya Kawamoto、PULSE

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/?search=TIERS%20GALLERY%20>

荒川技研工業株式会社 本社・表参道ショールーム「TIERS」3FにあるクリエイターのためのギャラリーTIERS GALLERY（ティアーズギャラリー）では、インテリアプロダクトを手がける若手の4組のクリエイターによる新作を展示します。野村牧生 & 佐藤建によるFARM AND BUILDは、デザインを「耕し」、新たな価値を探るプロセスととらえ、STRAIGHT ARM CHAIR & NAJIO LOW TABLEを発表。UNDER 30に選ばれたHOJO AKIRAは、製造管理や在庫管理の観点からさまざまなマテリアルが使われ、分解性を考慮することが難しい製品「ソファ」に対する違和感を出発点に、分解性を考慮した構造と再生利用を目的とした素材で設計を行ったプロトタイプを展示します。Masaya Kawamotoは、唯一無二の色味を表現することができる塩浴着色処理を用いて実験的な着色を行った、新作のオリジナルデザイン家具“PF Chair / PF Armchair”を発表。豊嶋 力也、多木 翔夢、三井 大輝によるPULSEは、異なる視点やアプローチを融合させることで新たなデザインの価値を生み出し、3人のデザイナーが素材と技法に着目したプロダクト「GROPING PROCESS」を発表します。



左下：HOJO AKIRA（Is that structure essential?）、PULSE（GROPING PROCESS）、右上：Masaya Kawamoto（PF Chair / PF Armchair）



会場：TIERS GALLERY
東京都渋谷区神宮前5-7-12

作品との出会いや感動をつなぐ注目の集合展

東京ミッドタウン

Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2024 開催期間中、
「つむぐデザイナー-Weaving the Future-」をテーマに3組のクリエイター作品を展示

Saki Takeshita (Galleria 2F, front of lucien pellat-finet)

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7824/>

UNDER 30に選ばれたデザイナーの竹下早紀は、世界一軽い木材として知られるバルサ材を染色し、200度近い熱風を当てて色を変化させ、グラフィカルに展開した作品「Eeyo (イーヨー)」を発表します。緑色がピンク色に、青色が赤色に。木材と染料の相性によって起こる不思議な現象です。染める時間、熱の当て方によって色や模様を変化させることができ、木目の表情やテクスチャをそのままに、表面に凹凸があるものや曲面、立体物に対してグラフィカルな加工をしていける点は、木材を用いたプロダクトデザインの新しい表現方法となります。



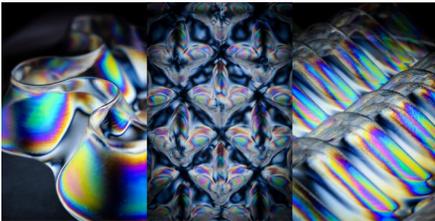
YUSUKE WAKATA (Galleria 2F, beside lucien pellat-finet)

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7832/>

若田勇輔は、47都道府県のご当地の果物や食品の廃材をアップサイクルし、新しいプロダクトに生まれ変わらせるプロジェクト「RE 47 CRAFTS」を発表。アップサイクルした素材で地方の職人や生産者と協業しながら工芸品をリデザインし伝統工芸品を製作しました。本展示を通して各地方の文化と可能性を知る体験を生み出します。

AAAQ (Galleria 2F, front of Aēsop)

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7829/>



UNDER 30に選ばれたプロダクトデザイナー/プロデューサーの都淳朗・UIデザイナーの太田壮によるクリエイティブ・ユニットAAAQ (エーキュー) は“光弾性 (photoelasticity)”と呼ばれる目には見えない秘めた力を鮮やかに可視化する現象を利用して、負荷によって生まれる光のテクスチャを鑑賞する作品「Visible Stress」を発表します。この作品体験から、今まで何気なく感じ取っていた自身と周囲の在り方を再考し、身の回りに潜む美しい力の世界を想像するきっかけを生み出します。

会場：東京ミッドタウン 東京都港区赤坂9-7-1 会期：10/11(金)～11/4(月・振休)

日比谷OKUROJI

参加クリエイター：CYUON×小川直人、HONOKA、ユカイ工学、COLOR and WONDER、大地漠 (煙道家)

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/?search=OKUROJI>

100年以上経った今なお、現役で使用されている煉瓦アーチが印象的な日比谷・銀座の奥にひそむ「日比谷OKUROJI」。その300m続く高架下空間に、今年も個性あふれる展示が集結します。国内屈指のウォーターサーバーシェアを誇る「アクアクララ」は、素材/製法の魅力を引き出すデザインラボ「HONOKA」との共創で、ボトルの素材としての可能性を探るボトルアップサイクルの展示を行います。広島県福山市で活動する粉体塗装ファクトリーCYUONが乃村工藝社の小川直人とタッグを組み「unknown」と題し、粉体塗装によるグラデーション表現の可能性を追求しながら、その発色の良さと金属素材の質感を透明なカラーで包み込む独特な風合いをアート作品として表現します。「ロボティクスで世界をユカイに」

というテーマのもと、ロボットやプロダクトの開発・販売を行なうユカイ工学では「PROTOTYPING☆YUKAI」と題し、販売中の製品やその開発過程や、新製品開発の種として毎年行うイベントから生まれる試作品群を展示公開します。COLOR and WONDERは、昨年発表した2TONEstool、VOXstoolに加え、新作の2DEE wall storageを展示します。



CYUON×小川直人



Aqua Clara × HONOKA | Trace of Water - 水の痕跡 -

また、初の試みであるCLT (直交集成板) を使った未発表のテーブルを展示する「Organic and Digital」を開催します。夜を味わうこと、夜の暮らしのあり方を探求する煙道家/風情研究家の大地漠は、「夜白」と題し、煙のたゆたう美が生み出す暗闇の空間芸術を展示します。

会場：日比谷OKUROJI 東京都千代田区内幸町1-7-1

美しいデザインのコラボレーション

KEF 音と光に浸る空間の祭典

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/9165/>

1961年に英国で誕生したオーディオブランド「KEF」は、著名なデザイナーであるマイケル・ヤングと、青山の「KEFミュージックギャラリー」を設計した、クライン ダイサム アーキテクト(KDa)とのコラボレーションによる展示を行います。会場となるKEFミュージックギャラリーには、ヤングが1990年代にデザインした革新的な作品「スティックライト」の鮮やかなマルチカラーのディスプレイと、彼がデザインしたKEFの「LS60ワイヤレススピーカー」も展示され、3者のクリエイションが融合した作品展示となります。



Michael Young マイケル・ヤング

ダイナミックで革新的な工業デザイナーの1人で、長年KEFと共同制作を行っているマイケル・ヤング氏は、エレガントかつミニマリストなスタイルと個人的なスタイルを同時に持ち合わせていることで知られています。KEFの製品デザインチームと協力して、マイケル・ヤング・コレクションに豊かな想像力、洗練されたミニマリズム、革新的なアプローチをもたらします。

会場：KEF Music Gallery Tokyo 東京都港区南青山5-5-6



ファニチャーブランドの家具デザインと、最新のインタラクティブなデザインツールの体験展示がひとつの会場でコラボレーションする、新しい試みの展示を開催します。

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/?search=stellar%20works>

Stellar Works Discover the future of workspace design



ハイエンドなホスピタリティーに特化したクロスカルチャーを体現するグローバルファニチャーブランド「Stellar Works」は、主力のコレクションをワークプレイスシーンに合わせた展示を行います。Stellar Worksの製品がCULTURED SENSIBILITY、TIMELESS CRAFTというコンセプトを通じて、どのように空間に溶け込み、新たな価値を創造するのか、体感しながらお楽しみください。

Sony Group Creative Center CREATE MORE FUN

ソニーグループのデザイン部門であるクリエイティブセンターが、CMF（Color, Material, Finish：色、素材、仕上げ）の可能性をフィジカルとデジタルの両面から探求する体験型展示「CREATE MORE FUN（クリエイト モア ファン）」を、青山「Stellar Works」のショールームの一画で開催します。



会場：Stellar Works Showroom 東京都港区北青山1-2-3 青山ビル2F

実験的なアイデアと新たな視点による作品

今年もDESIGNART TOKYOでは、実験的なアイデアと視点で新たな思想を持った作品が多く参加しています。その一部をご紹介します。

TOYOTA 構造デザインスタジオ クルマの記憶：ガラスによる素材の変容と情景

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7841/>

TOYOTA 構造デザインスタジオは、ベースとなるデザイン思想「Geological Design」の下、開発初期段階から使う資源を最小化する取り組みはもちろん、リサイクルや前の命よりも魅力的になるようなアップサイクルまで考えて活動しています。しかし現状のファクトとして、実はほとんどリサイクルされていないガラスや、再利用された金属の後に必ず残されてしまう「スラグ」などがあります。本展示では、ガラスの持つ多様性とその本質を具現化し、クルマの素材をその中に閉じ込めてみました。ガラスを媒体とすることで、目には見えない前世の記憶や、その素材の自由で多面的な変容も、半永久的に可視化することができます。



会場：seen B1F 東京都渋谷区神宮前4-13-12

実験的なアイデアと新しい視点による作品

乃村工藝社 Being 家具が居ること

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7849/>



会場：東京都渋谷区神宮前5-10-1 GYRE 4F

「Being 家具が居ること」は、空間の総合プロデュース企業・乃村工藝社による、人と物との関係性について再考するプロジェクトです。私たちは空間をデザインする中で、創りだした物が十分に使える状態で廃棄されることや、使われなくなることに大きな課題を感じています。ひとつの物が永く大切に使われる状況を考えたとき、物に対する愛着が芽生えるような関係性が生まれていることがあります。いつしか物を「所有して使っている」感覚から、気にかけて「一緒に居る」感覚へ。この感覚の変化に気づくことが、課題を解くひとつの方法ではないかと考え今回のプロジェクトが生まれました。家具が“ある”から“居る”という存在に変わったら、私たちはどのように彼らと接するでしょうか。人と物の間の価値変容を、一連の実験的デザインによって社会に問いかけます。

&T × 大竹寛子 Flow and Movement

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7844/>

今年4月に、工業用刺繍機メーカーTAJIMAがローンチしたばかりの刺繍アートブランド“&T（アンドティー）”は、現代日本画家 大竹寛子氏との空間インスタレーションとコラボレーション作品を展示します。本作品を通して、素材への挑戦、漁網からアップサイクルされた生地、糸を扱う事により素材そのものへのリスペクトとコンセプトを深め、技術の発達の前にある理想と問題点などを改めて社会に対して問い直します。今回はインスタレーションアートとして、手で触れることによって刺繍が連鎖的に発光する作品を制作。同時に、刺繍で作られた立体の蝶たちが作品の前で羽ばたき、空間を演出します。子どもから大人まで、五感で体感して楽しんでいただきたい展示です。



会場：スパイラル エスプラナード（スパイラルM2F）
東京都港区南青山5-6-23

Takramのプロダクトデザインとその裏側 <https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7783/>



photo by Shinya Sato (Shinya Sato Photography office)

さまざまな分野のチェンジメーカーとプロジェクトを共にしてきたデザイン・イノベーション・ファームTakramは、数あるプロジェクトの中からプロダクトのデザインに焦点を当て、実際の製品とともにそのデザインの裏側を公開します。クライアントと共に新たな価値を創出するためのデザインプロセスとはどのようなものだったのか。プロジェクト当時の資料やプロトタイプ、高いクオリティを実現する手法などを通じて解き明かします。展示期間中にはTakramのデザイナーとクライアント担当者とのトークイベントも開催予定です。

会場：SAS 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-56-3 B1F

COCOON ANATOMY / 繭を解く

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7821/>

UNDER 30に選出された池部ヒロトは、現在衰退の一途を辿りつつある養蚕文化に新たな視点や価値をもたらすことを目的として、その存在を読み解き、再解釈し、土地に根ざした伝統的な技術と最新のテクノロジーを組み合わせることで繭から出る廃棄物を素材とした新たなプロセスを持つ衣服「COCOON ANATOMY」を発表します。展示を通して、工業化によって不可視化しつつある素材や生産者との関係性を視覚化し、テキスタイルの製造プロセスの理解を取り戻すことで、衰退しつつある養蚕文化の記憶の再生を行います。

会場：foundation 〒107-0052 東京都港区赤坂9-5-12 B1F



photo by Yasunari Kimura / FFP®

INTERIOR インテリアブランドによる新作や特別展

Cassina ixc.

リニューアルした青山本店展示およびライブオフィスガイドドツアーを開催

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7765/>

今年7月に3Fフロアをリニューアルした青山本店で、オリジナル&セレクトブランドであるixc.（イクスシー）が取り扱う、ixc. EDITON（イクスシー・エディション）、CECCOTTI COLLEZIONI（チェコッティ・コレツィオーニ）などのスタイルを“カーサ（家）”で表現し、自分らしいスタイルのインテリアへと導く新たな体験を提供します。また、パトリシア・ウルキオラが手掛けたカッシーナ・イクスシー本社オフィスのガイドドツアーを開催します。機能性と美しさの両立を目指し、より生き生きとした居心地の良い環境を育むためにワークスペースのリデザインを行ったオフィス空間を、参加者のみに特別にお披露目します。

会場：東京都港区南青山2-12-14 ユニマツト青山ビル 1F-3F(ショップ) 4F(オフィス)
会期：10.17(thu)～10.28(mon) 水曜定休
※10.19(Sat)／20(Sun)開催の2日間限定オフィスガイドドツアーは事前予約制



BRIDGE sofa & table / ixc. EDITION

FLEXFORM 「BETWEEN THE FOLDS」

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/?search=FLEXFORM>



Milano Design Week 2024

会場：東京都港区南青山6-4-10 FLEXFORM TOKYO
会期：10.18(fri)～2024.11.4(mon) 水曜定休

FLEXFORM TOKYOでは、目に留まらないようなディテールにまで、タイムレスでエレガントな美を行き渡らせる「FLEXFORM（フレックスフォルム）」の世界観と2024 NEW COLLECTIONから、歴史と職人技からもたらされるサヴォアフェールを巡る旅へ誘います。2024 NEW COLLECTIONでは、40年に渡りブランド監修を務めるイタリアデザイン界の巨匠アントニオ・チッペリオによる復刻モデル。そして、FLEXFORM初となる日本人デザイナー柴田文江による新作アームチェアを展示します。

*サヴォアフェール：ノウハウ的な技巧美、才覚にも似た体験美、そしてなんとも言えない佇まいをもたらす創造美がブレンドされた匠の技を凌駕した天賦の才のこと。

ERI armchair Designer Fumie Shibata



Molteni&C MOLTENI MONDO. AN ITALIAN DESIGN STORY.ローンチイベント

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7809/>

1934年にイタリアで創業したインテリアブランド「モルテーニ」は、創業90周年記念写真集「MOLTENI MONDO. AN ITALIAN DESIGN STORY.」ローンチイベントを開催します。イタリア モルテーニ社を舞台に、アメリカの著名写真家ジェフ・パートンが撮り下ろした映画のメイキングを思わせる芸術的な一冊です。期間中は会場にて特別インスタレーションを公開します。

会場：東京都港区南青山6-4-6 Almost Blue A棟/B棟
会期：10.17(thu)～2024.12.1(sun) 水曜・祝日定休



Photo by Jeff Burton



ACTUS eilersen 「THE QUALITY SOFA」

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7762/>

1895年馬車のボディ・シートのメーカーとして、デンマーク・オーデンセに誕生した家具ブランド「eilersen（アイラーセン）」は、圧倒的な座り心地と、様々な空間に溶け込む普遍的なデザイン、細部まで妥協を許さない素材選びにより、北欧で最も支持をうけるクオリティソファブランドです。アクタス・丸の内店では、常に心地よい座りを探求し続けるアイラーセンの定番から初上陸モデルまでを体感できる「The QUALITY SOFA」を開催します。

会場：東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング 3F
会期：9.6(fri)～11.4(mon)

アート／テクノロジー

Manami Numata × sync Inc. Sky Pocket

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7803/>

東京藝術大学大学院を経て個展を重ね、数々のアワードを受賞する注目のアーティスト沼田愛実が、事務所移転したsync株式会社に併設されている「sync public」で個展を開催します。現在は地元・萩市を制作の拠点とし、自然の雄弁さを感じながら制作を行うことで、地図や静物をモチーフに、人生と旅路を重ねた作品群に「空」をコンセプトとした色彩豊かな新しいシリーズが加わりました。今回はその新シリーズより、コミッションワークとして東京の街を描いた大型作品も同時展示します。空が最も美しく変化する瞬間を捉えた、色鮮やかな作品たちが楽しめます。



会場：東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館1F
会期：10.16(wed)~10.27(sun)

MAHO KUBOTA GALLERY Brian Alfred個展「Golden Hour」

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/8336/>



Brian Alfred / RISING SUN, 2024, acrylic on canvas

原宿と青山が重なる東京の文化のクロスポイント、神宮前に位置するコンテンポラリーアートのギャラリー「MAHO KUBOTA GALLERY」では、ニューヨークを拠点に制作するブライアン・アルフレッドの個展「Golden Hour」を開催しています。アメリカの伝統的なペインターの影響を受ける一方、本展の作品には、アーティストが訪れた旅先の風景や、日常の中で経験した輝く瞬間の数々が描かれています。アルフレッドはそれぞれのペインティングを煌めく人生の一瞬のスナップショットとして、また視覚的な日記の1ページとして表現しています。忙しい日常の中で出会う心を動かす瞬間、その刹那の煌めきを絵画という形で結晶させた作品群は、鑑賞者に自身の記憶や大切な経験と呼び起こし、人生における美しい時間を感じさせてくれることでしょう。

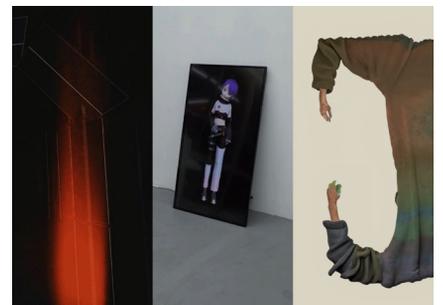
会場：東京都渋谷区神宮前2-4-7 会期：~10.26(sat)まで（日・月休み）

Foot Foot: JACKSON kaki / Ami of ZOO / Kazuhiro Aihara with NEORT

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7886/>

コマーシャルデザインをバックグラウンドに持つ3人のデジタルアーティスト JACKSON kaki / Ami of ZOO / Kazuhiro Aiharaによるグループ展では、テクノロジーやシステムの構造の中で生きることが当たり前となっている現代において、アーティストにとって新たな材料となっているデジタルテクノロジーを活用しつつ、「デザイン」の枠を超え「正しさ」や「秩序」、「効率性」とは異なる創造性を探求します。デジタル技術を駆使して創り出された視点の交錯、肉体の叛乱、空間の反転によって生み出される3人のアーティストが、未知なる共鳴を探り、表現の「外側（アウトサイダー）」を追求します。

会場：銭瓶町橋高架下（NO.32）千代田区大手町2-5-17



現代アート作家 MARINO. × NOI STUDIO

「自然という時を描く」— 原画と未来のAIアートの融合

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7852/>



会場：東京都渋谷区宇田川町21-1
西武渋谷店A館 1Fショーウィンドウ
会期：10.15(tue)~11.25(mon)

自然界からのインスピレーションを源に、見えない存在とともに「時」を描き出す現代アート作家MARINO.。その繊細な原画は、自然の雄大さや時の移ろいを表現し、観る者に深い共感を与えます。今回は、建築デザイン分野でデジタルイノベーションを牽引するNOI STUDIO（高木秀太事務所）とのコラボレーションにより、MARINO.の原画にデジタル技術を用いた新たな視点が加え、アートがファッションや空間デザインといった異なる領域にまで拡張される表現が模索しました。テクノロジーとアートの融合によって、未来のアートのあり方や可能性を探求し、自然とデジタルの新しい対話を提示します。

今年も東京エリアに多彩な展示が集結

コンランの過去と今を巡る3つの展示を開催

テレンス・コンラン モダン・ブリテンをデザインする
イギリスの生活文化に変革をもたらしたテレンス・コンランの人物像に迫る展覧会
<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/9447/>

「Plain, Simple, Useful」なデザインを掲げ、イギリスの生活文化に変革をもたらしたサー・テレンス・コンラン（1931-2020）。‘70年代から展開した「ザ・コンランショップ」をはじめ、デザインブームの火付け役にもなったコンランの大規模展覧会です。創業者、デザイナー、多岐にわたる事業で功績を上げたテレンス・コンランの人物像に、300点以上の作品や資料で迫ります。

会場：東京ステーションギャラリー 東京都千代田区丸の内1-9-1
会期：10.12(sat)～2025.1.5(Sun)



Inspirations for the Next

ザ・コンランショップ 30周年企画 INSPIRATIONS for the NEXT

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/8046/>

ザ・コンランショップ 丸の内店では日本上陸30周年を迎え、4名のデザイナー（工藤桃子・熊谷彰博・藤城成貴・柳澤星良）とアジア・日本らしい現代的な家具作りを目指し新たな活動として、新しい商品開発への礎となる「INSPIRATIONS for the NEXT」を紹介します。

会場：東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング3F・4F

the conran shop × N.HOOLYWOOD
test product exchange service
special model



THE CONRAN SHOP X N.HOOLYWOOD SPECIAL EDITON SOFA

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/9196/>

三井住友銀行東館アースガーデンでは、ザ・コンランショップとN.HOOLYWOODデザイナー尾花 大輔氏のルーツともいえるミリタリーアイテムに着目したコラボレーションで新しいスタイリングのかたちを提案します。

会場：東京都千代田区丸の内1-3-2 三井住友銀行東館1F アース・ガーデン

落合陽一個展「昼夜の相代も神仏：鯨ヲ・鰻ドラゴン」

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/8234/>

江戸時代の宗教的空間を考察し、落合氏が長年追求してきたデジタルネイチャー・計算機自然という哲学体系を基盤に時間と空間の循環的な性質を探究する展覧会です。今回、落合氏は八重洲・日本橋・京橋地域の歴史を深く調査しました。そこから生まれたのが、中心となる二つの彫刻です。仏教的現代要素を神仏習合の一つとして発展させた「一仏五鮎八鰻三角縁仏獣鏡」と、龍神の転生した「鰻ドラゴン」を融合させ、昼夜が切り替わりながらサイクルしていく展示を構想しました。

会場：BAG-Brillia Art Gallery- 東京都中央区京橋3-6-18 東京建物京橋ビル 会期：9.7(sat)～10.27(sun)



Straft Exhibition "NEST"

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7830/>

UNDER 30に選出されたStraftは「Exhibition "NEST"」と題し、昔から屋根や壁、生活に必要な道具としてだけでなく神事にも用いられるなど、祈りの対象物として敬ってきた稲藁を使った作品を展示します。自然とともに共生していこうとする自然観の中に、現代に必要とされる精神的な豊かさの本質を探ります。



ともに会場：景色/Keshiki
東京都中央区日本橋兜町6-5 第6平和ビルB1F

日本製鉄『ブリキのリデザイン展』2024

<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7799/>

世界トップクラスの鉄鋼メーカー、日本製鉄のブリキ事業の展示会第二弾を開催します。様々なエンドユーザーを支える最薄の鉄であるブリキの新たなユースケースや新しい魅力をリデザインし、環境優位性が高いサステナブルなマテリアルとして、今年は「食と鉄」、「住空間と鉄」をテーマにインスタレーションと展示を行います。



DESIGNART TOKYO 2024オフィシャルシャンパーニュ「ペリエジュエ」

イタリアのデザインスタジオ“Formafantasma”との画期的なデザインコラボレーションを発表

プレステージ・シャンパーニュメゾン『ペリエ ジュエ』は今年、イタリア人のデザイナーデュオによる革新的なデザインスタジオ“Formafantasma”（フォルマファンタズマ）とコラボレーションし、『ペリエ ジュエ』が掲げる生物多様性への取り組みにインスピレーションを得て、今年9月にシャンパーニュ地方にあるメゾン所有のアンボネイのブドウ畑に建築インスタレーションを構築、発表しました。日本では、フォルマファンタズマがデザインした限定パッケージ「ペリエ ジュエ ベル エポック 2016グラス2脚セット」by フォルマファンタズマ が数量限定で発売されます。



クリエイティブを語り合う場 CREATIVE PUB「GRADATION」が一夜限りの開催

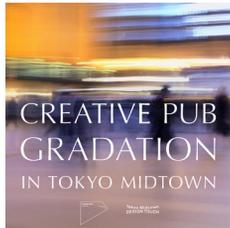
Tokyo Midtown DESIGN TOUCH と DESIGNART TOKYO が 共同で CREATIVE PUB「GRADATION」を開催。アート、建築、インテリア、プロダクト、ファッション、グラフィックなど、様々な分野で活躍する27人がコネクターとして参画し、集う人々が交流する時間を作ります。

会場：Le Pain Quotidien（ル・パン・コティディアン）東京ミッドタウン プラザ 1F

開催時間：19:00-24:00 ※最終受付 23:00

参加方法：当日受付 ※混雑時は入場制限する場合があります。 参加費：2,000円（税込）※現金のみ・ドリンク付き

主催・企画：東京ミッドタウン 企画：DESIGNART TOKYO実行委員会



DESIGNART TOKYO 2024 開催概要

テーマ：「Reframing ～転換のはじまり～」

会期：2024年10月18日（金）～10月27日（日）の10日間

エリア：表参道・外苑前・原宿・渋谷・六本木・広尾・銀座・東京駅周辺

展示数：117（96会場）

主催：DESIGNART TOKYO 実行委員会

発起人：青木昭夫（MIRU DESIGN）／川上シュン（artless）／小池博史（NON-GRID）／永田宙郷（TIMELESS）／アストリッド・クライン（Klein Dytham architecture）／マーク・ダイサム（Klein Dytham architecture）

オフィシャルウェブサイト：<https://designart.jp/designarttokyo2024/>

SUPPORTER

J-WAVE 81.3FM

HOTEL PARTNERS

THE
TOKYO
GINZA
EDITION

DDD HOTEL

SPONSORS

CHAMPAGNE
PERRIER JOUËT

LIXIL

VOLVO

Molteni & C

SONY

PAOLA
LENTI

WORLD

VENUE
SPONSORS

TOKYO MIDTOWN

AXIS

SHIBUYA
OKUROJI

株式会社 シェイアール東日本都市開発

SEIBU
西武
渋谷
www.seibu.jp

ARAKAWA

3rd inc.

DESIGNART TOKYO 実行委員会

107-0062 東京都港区南青山2-15-19 フジハイツ402

info@designart.jp <http://designart.jp>

イベントに関するお問合せ 2024exhibitors@designart.jp

取材・掲載のお問い合わせ 担当 小高妃登美 press@designart.jp



[instagram.com/DESIGNART_TOKYO](https://www.instagram.com/DESIGNART_TOKYO)



twitter.com/DESIGNART_TOKYO



facebook.com/designart.jp